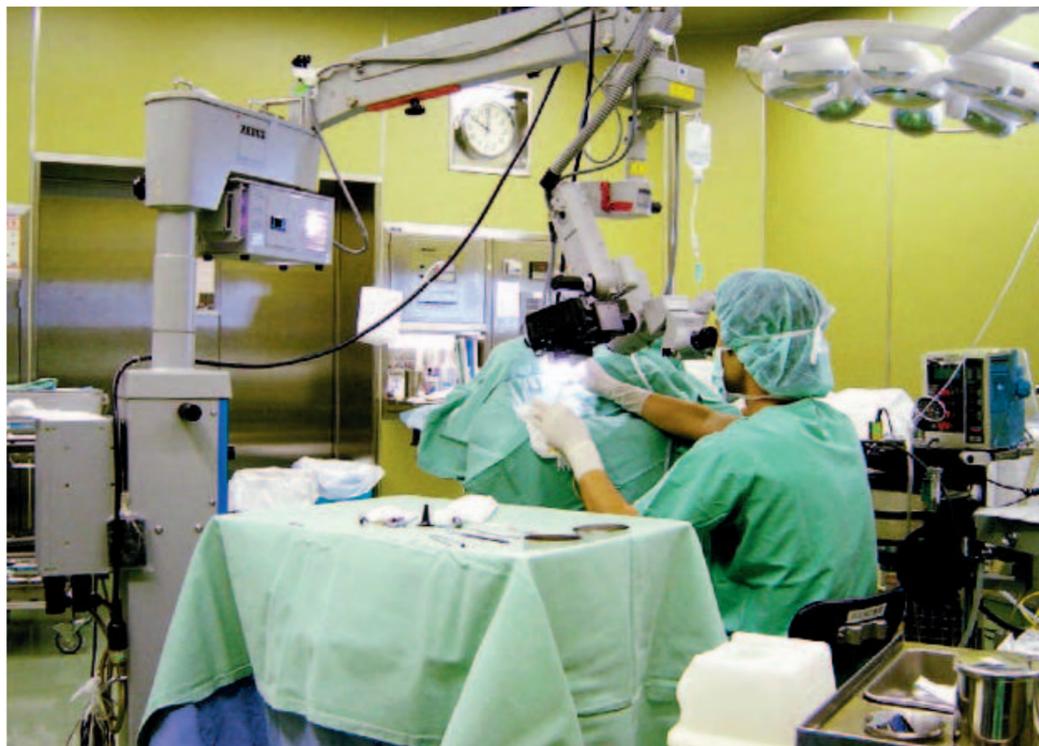


# 麻酔について



## マンガでわかる! — 麻酔とは —

1 やっばり手術の方が良いでしょう  
主治医  
はい。手術を受けます

2 アレルギー! 麻酔がきかないー  
……とは言ったものの麻酔が心配だなー

3 こんにちはわたくしが麻酔担当の医師です  
よ、よろしくー

4 麻酔には…  
おやすみ  
これ、おきなさい!  
全身麻酔と…  
話はこれからよ!

5 身体の一部だけ麻酔される…  
これでいい!  
局部麻酔があります  
全然痛くない

6 患者さんや手術に応じて  
麻酔方法を選択します

出典:麻酔を受けられる方へ 患者さん・ご家族用の麻酔の手引き 監修:札幌医科大学麻酔科 教授 並木 昭義

当院では毎年約6千人、1ヶ月あたり500人超の方が手術を受けています。麻酔は手術をする上でなくてはならないものですが、手術を受ける患者さまは、手術自体に対する不安とともに、麻酔への不安も感じているのではないのでしょうか。

当院では日本麻酔科学会専門医をはじめとする医師が、手術前から手術後まで、患者さまの全身状態を注意深く見守り、手術の進行や患者さまの回復をサポートしています。

今回は麻酔の安全性や手術を受ける際の注意点などについて紹介します。

安全に手術を受けて頂くために、主治医とともに皆さまを見守っています。



### 麻酔にはどんな種類があるの??

麻酔は大きく分けると全身麻酔と局所麻酔に分けられます。

全身麻酔は中枢神経を抑制するので意識がなくなります。口・鼻から麻酔薬を吸う吸入麻酔と血管内(静脈内)へ麻酔薬を投与する静脈麻酔があります。

現在の全身麻酔薬は進歩しているのですねに眠ってしまい、麻酔を切るとほとんど目が覚めます。(目が覚めなくなってしまうのはと心配される患者さんがたくさんいますがご安心ください。)

局所麻酔には脊椎麻酔(腰椎麻酔)、硬膜外麻酔、伝達麻酔、浸潤麻酔、表面麻酔等があります。脊髄神経、末梢神経、自律神経のある部分で神経を遮断(ブロック)するので意識は保たれます。

手術に際し、一番行われる局所麻酔は脊椎麻酔です。盲腸(虫垂炎)やせけいヘルニアの手術を受けられた方はこの麻酔をかけられたことをご存知でしょうか。

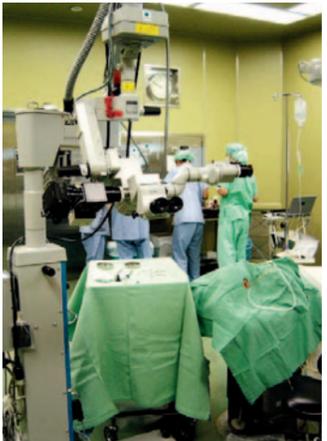


### 1 麻酔とは

体に痛みや刺激を与えても全く痛みを感じなくする方法です。

全身のどこにも痛み刺激を与えても感じなくなるのが全身麻酔、体の一部のみが痛み刺激を感じなくなるのが局所麻酔です。

手術や患者さんの状況に応じて、担当の麻酔科医が、最も安全と考えられる麻酔法を選択します。また手術中に全身状態に合わせて麻酔法を変更することもあります。



### 2 麻酔の安全性

現在の麻酔は安全に行われていますが、100%安全とは断言できません。麻酔に使用される薬に対して他の人とは異なる反応(アレルギー)を示す方もおられます。

持病(せき、心臓病、脳梗塞、肺塞栓症等々)がある手術中・手術後に突然危険な状態に陥る方もおられます。そのため麻酔科医は麻酔・手術中のあらゆる異常事態に対処できるように務め、十分な監視装置(心電図)と薬を用意し、麻酔を行なっています。

手術後は痰がたまるのを防ぐために深呼吸やせきを積極的にいきましょう。

タバコは痰をたまりやすくするのよ  
手術前後は禁煙しましょう

できるだけ丸くなってください。ネコのようにね!

背中ここに小さな注射をします  
痛み止めも使います

全身麻酔  
顔にマスクをあてがうと…いつの間にか眠ってしまいます。



### 手術室ってどんなところ？

当院の手術室は3階北病棟に位置しています。10室の手術室があり、ここで毎日たくさんの方の手術が行われています。



↑ハッチウェイ  
横になったままベッドから手術台に移るための機械です。



↑手術で使う器具が入っています。  
滅菌された器具は、手術の種類ごとにセット化されています。



### 3 手術の前に行いたいこと

#### ●絶食(食事の制限)

胃の中に食べ物が入ったまま麻酔がかかると、食べ物が逆流して肺の中に入って肺炎を起こし、生命に危険が及ぶことがあります。(誤嚥性肺炎) 赤ちゃんを除いて前日の夜9時ころから、飲食は制限されます。



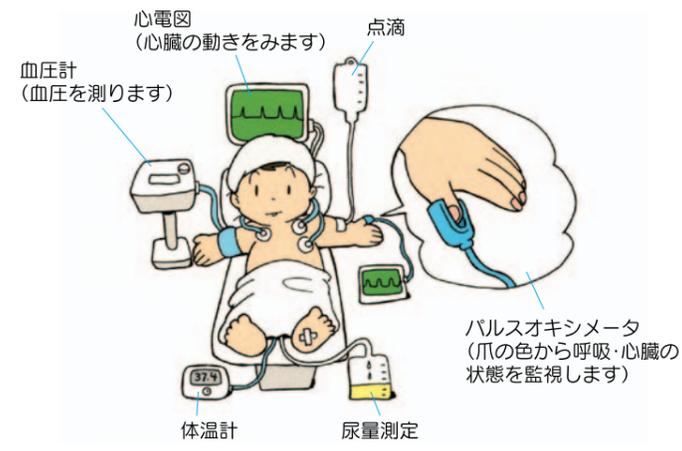
#### ●麻酔前の診察

予定手術の前日に麻酔の説明が行われます。今までかかった病気や、家族の病気、特に麻酔や手術によって具合が悪くなった肉親の方がおられる場合には、必ず麻酔科医に伝えしてください。



### 4 手術室に入ったたら

手術室のベッドに横になったら、手術中の安全を守るために監視装置(モニター)を体につけます。すこし冷たかったり、くすぐったかったりします。(心電図・血圧計・パルスオキシメーター等々)



### 5 手術が終わったら

#### 5 手術が終わったら

手術が無事に終わっても、麻酔の薬はまだ体の中に残っているため、心臓や呼吸の状態はまだ不安定です。すぐに病室に帰してしまおうと思われぬ併症を引き起こすことがあります。通常は手術室にある回復室で一時間くらい休んで、安全を確かめてから病室に戻ります。家族の方は早く顔をみたいとやきもきされるでしょうが、少しの時間我慢してください。麻酔が切れてくると痛みを感じるようになります。そばにいる医師、看護師に遠慮なく痛いと言え、痛み止めを処方してもらってください。

手術前は手術に対する恐怖、様々な心配事が沸き起こってきて手術を受けるのをやめようかと思われる方もおられると思います。実際ほとんどの方は手術後、見る見るうちに健康を回復されていきます。

### マンガでわかる! 手術室へ行く

1 手術室へ行きます

2 はい、着がえをしましょう  
着替えを病室で行うこともあります

3 麻酔科医 あっおはよう  
手術室の看護師

4 心電図  
血圧を測りますよ  
必要な機械をつけます

5 点滴もします  
いろいろな薬を入れるためですよ

手術中

出典: 麻酔を受けられる方へ 患者さん・ご家族用の麻酔の手引き 監修: 札幌医科大学麻酔科 教授 並木 昭義



筆者紹介  
診療部 麻酔科  
河村 文夫 医師

麻酔、集中治療、救急医学  
日本麻酔科学会専門医、指導医  
日本集中治療医学会専門医

医師・看護師・臨床工技士がチームを組んで手術を受ける患者さんを見守っています。ほんのすこしの勇気を出して手術に臨んでください。